

「流行性耳下腺炎の患者数の推計および疾病負荷に関する研究」 に対するご協力のお願い

研究責任者 所属 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
氏名 小林 祐介
連絡先電話番号 03-5285-1111 (代表)

このたび国立感染症研究所では、2015年1月1日以降、2017年12月31日までに、金沢市内において、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）による合併症と診断された患者さんを対象に、下記の研究を国立健康危機管理研究機構倫理審査委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、ご協力いただく患者様への新たな負担は一切ありません。また患者様のプライバシー保護を最優先に取り組み、情報が漏洩することはありません。

本研究への協力の同意を取り下げる方は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2015年1月1日以降、2017年12月31日までに金沢市内において、おたふくかぜによる合併症と診断された方。

2 研究課題名

承認番号 JIHS-S-005174-00

研究課題名 流行性耳下腺炎の患者数の推計および疾病負荷に関する研究

3 研究実施機関

国立感染症研究所 感染症サーベイランス疫学部・応用疫学研究センター・検査診断技術研究部
金沢市保健所、石川県保健環境センター、**国立病院機構 三重病院**、わたなべ小児科医院

4 本研究の意義、目的、方法

おたふくかぜはワクチンで予防ができる疾患ですが、国内ではワクチンが定期接種に位置付けられていないために、全国的に3～4年の周期で流行を繰り返しています。おたふくかぜワクチンの定期接種化の検討に当たり、疾病負荷（罹患した場合の患者様の負担）の情報は必要不可欠ですが、現在国内ではその情報が十分ではありません。

感染症法に基づくおたふくかぜの届出は、臨床診断によるものであるため、ムンプスウイルス（おたふくかぜの原因となるウイルス）以外の病原体が原因で耳下腺腫脹を起こしている患者が含まれる可能性も考える必要があります。また、おたふくかぜに罹った患者様のうち、その一部の方が難聴や無菌性髄膜炎、精巣炎、卵巣炎などの合併症を発症してしまうことが知られていますが、合併症について調査した過去の調査の多くは、ムンプスウイルス以外の病原体による耳下腺腫脹の患者さんも対象として含まれていた可能性があります。従って、おたふくかぜの実態を正確に把握でき

ていない可能性があるため、耳下腺腫脹を認め、かつムンプスウイルスが原因である患者数とおたふくかぜによる合併症患者数の把握が必要です。前者については、すでに調査を開始しているところです。

本研究では、上述の「1 対象となる方」の年齢、性別、おたふくかぜの診断、おたふくかぜによる合併症の診断に関する情報を用いて、金沢市におけるおたふくかぜ患者数のうち、合併症を発症した患者様の割合の算出を行います。得られた結果は発表等で公表することがあります、個人情報は全て削除されており、研究にご協力下さる方のプライバシーを侵害する恐れはありません。

5 協力をお願いする内容

本研究では、2015年1月1日以降、2017年12月31日までに金沢市内において、おたふくかぜによる合併症と診断された患者様の情報（年齢、性別、おたふくかぜの診断、おたふくかぜによる合併症の診断、等）を使用させて頂きます。

6 本研究の実施期間

2024年4月1日～2027年3月31日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者様の個人情報は、年齢、性別、おたふくかぜの診断、おたふくかぜによる合併症の診断等で、個人が特定できる情報（氏名、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究にご協力下さる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用について停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

【お問い合わせ先】

国立感染症研究所

研究責任者 : 小林 祐介

研究者 : 中下 愛実

T E L : 03-5285-1111

対応可能時間 : 平日 9時00分～17時00分

以上